

1. 【雲南市新庁舎建設基本計画（案）について】

三刀屋町会場

Q11：新庁舎の建設について異論は無い。250人の職員が新庁舎に入るが、公用車駐車場が90台もいるのか。また、地震による液状化問題についてどう考えているか。

A：合併協議会の時から検討されて、庁舎の位置もなかなか定まらなかったが、合併特例債の有効期限である平成26年までに建てることになった。懸案事項について市民に説明し意見をいただく。3月に大震災も起き、液状化現象などの耐震についての意見などもあることから、常に検証しながら進めて行く。(市長)

A：公用車については1人あたり0.3台と計算している。雲南市は面積も広く自動車で移動する機会が多い。総合センターが縮小すると本庁から出かけることも多くなる。(総務部長)

Q12：新庁舎について、庁舎を事務処理にしか利用できないような箱物にしないで欲しい。例えば、市民でも行ってみたいと思えるような食堂兼レストランや、カラオケボックス、図書館やビデオライブラリーなど、子どもやお母さんたちも行きたいと思うような環境づくり、冬場にはイルミネーションで雲南のブランドをPRしたら、国道から見えて良いと思う。人目を引く庁舎であってほしい。

A：雲南市の財政状況から建設費を圧縮したいが、東日本大震災などから地盤の心配があり、岩盤までの基礎の長さや地震の強化対策に経費がかかります。災害の対応に視点を置いて検討していく予定です。(総務部長)

Q13：震災で庁舎が潰れ、重要なデータがなくなると、修復には相当の時間と労力がかかる。最新型の庁舎を是非建築して下さい。暫定庁舎は、昭和45年築で既に40年たっていて古いし、合併して7年になるので、雲南市のシンボルとなるような建物にすべきだ。

今までの説明では、18億円程度の建築費を見込んでいたと思うが、27億円に膨らんでいる。27億円が高いか低いかよりは、機能的で、市民からの意見を取り入れた施設が望ましい。市民の意見は、誰が吟味して、何を取り入れるか、そうしたプロセスについても説明してほしい。内容によっては27億円も妥当になる。

私は、屋上にヘリポートを作ったらいいと思う。ドクターヘリも運行しており、消防署も近くて活用できる。合せて、公募による市民を入れたワークショップで議論を深めることと、市内の建築技術者（設計士）が集まって雲南設計連合を組織し、ワークショップに参加して適切なアドバイスをおこない、計画がまとまったら、この雲南設計連合が設計・管理を行って、雲南市民としての自ら責任を果たす。また現在の市役所は、非常時の備蓄倉庫や避難所として活用できる。事業については検討を重ね、本当に良い物を作ってほしい。

A：建築費は、平成19年～20年に議会で議論され、18億円程度の試算をした。今回、島根県との話し合いや、隣接する土地の関係などで再検討し27億円位になった。当初の建築単価より10万円高くなったことが大きな要因。また、災害対応のためのヘリポート設置や、跡地の利用については先ほどの提言を検討委員会で検討することとします。ワークショップも基本設計の段階で設置を検討します。(総務部長)